

KOIZUMI

CDステレオラジカセ

家庭用

日本国内専用
Use only in Japan

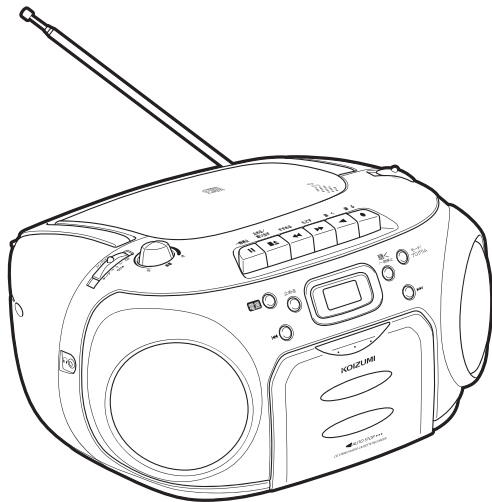
型番 **SAD-4944**

取扱説明書

(保証書付)

このたびはコイズミCDステレオラジカセをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

なお、この取扱説明書には保証書が付いています。お読みになられた後も、お使いになる方がいつでも見ることができる場所に大切に保管してください。



目次

安全上のご注意	1
ご使用になる前に	4
CDについて	4
テープについて	4
結露について	4
各部のなまえ	5
電源について	7
家庭用電源で使うには	7
乾電池で使うには	7
電源を入れる	8
電源を切る	8
CDを聴く	9
CDディスプレイの表示について	10
リビート／ミックス演奏	10
プログラム演奏	11
ラジオを聴く	12
設置場所について	12
テープを聴く	13
オートストップ機能について	13

録音する	14
オートストップ機能について	14
CDから録音する	14
ラジオから録音する	15
市販のヘッドホン／イヤホンで聴く	16
お手入れのしかた	17
本体のお手入れ	17
レンズのお手入れ	17
ヘッド部のお手入れ	17
仕様	18
故障かな？と思われたときは	19
アフターサービスについて	21
保証・無料修理規定	22
保証書	23
お客様相談窓口	23

小泉成器株式会社

安全上のご注意

- *ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- *ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



誤った取り扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの



誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性のあるもの

絵表示例と絵表示の意味



○記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

- お読みになられた後も、お使いになる方がいつでも見ることができる場所に大切に保管してください。

警告



煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときは本体の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



本体内部に異物や水などが入った場合は、本体の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜く

そのまま使用すると、事故の原因となります。必ず使用を中止し、販売店に修理をご依頼ください。



本体内部に金属物や燃えやすいものを入れない
事故や故障の原因となります。

電源コードが傷んだら(芯線の露出、断線など)使用しない

火災・感電の原因となります。



風呂場では使用しない

火災・感電の原因となります。



表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しない(日本国内専用)

火災・感電の原因となります。

本体の通風孔、カセットホルダーやCDの挿入口などから金属類や燃えやすいものを差し込んだりしない

お子様のいるご家庭ではご注意ください。

電源コードを傷付けたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、束ねて使用したり、引っ張ったり、加熱したりしない

電源コードが破損して火災・感電の原因となります。

電源コードの上に重いものをのせたり、電源コードが本体の下敷きにならないようにする

電源コードに傷が付いて、火災・感電の原因となります。

電源コードの上を敷物などで覆うことにより、それに気付かず、重いものをのせてしまうことがあります。



雷が鳴ったら、機器の金属部や電源プラグに触れない

また屋外で使用しない

落雷や誘電雷により感電・やけど・機器の焼損の原因となります。

使用しているときはすぐに機器から離れてください。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。



改造はしない

修理技術者以外の人は分解したり修理をしない

事故やケガの原因となります。修理はお買い上げの販売店または小泉成器株式会社「修理センター」にご相談ください。



電源プラグは清潔にする

刃および刃の取り付け面にほこりが付着している場合は拭き取る

ショート・火災の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

異常に温度が高くなるところに置かない

本体の変形・変質・火災・故障の原因となることがあります。異常に温度が高くなる場所、直射日光の当たる高温の場所（自動車内など）には置かないでください。



電源コードを熱器具に近づけない

電源コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。

湿気やほこりの多い場所に置かない

火災・感電の原因となることがあります。

レーザー光線をのぞき込まない(CD部)

レーザー光線が目当たると視力障害を起こすことがあります。

指定以外の乾電池、新しい乾電池と古い乾電池、種類の違う乾電池を混ぜて使用しない

乾電池の破裂・液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池は加熱したり、分解したり、火や水の中に入れない

乾電池の破損・液もれにより、火災・ケガの原因となることがあります。

テレビ、オーディオ機器などを接続する場合は、それぞれの機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する接続は指定のコードを使用する

乾電池のプラス・マイナスは正しく入れる

乾電池の発熱・破裂・液もれにより、火災・ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池は幼児の手の届かないところに保管する
万一口飲み込んだ場合にはただちに医師とご相談ください。

始めから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。特にヘッドホンをご使用になるときは注意してください。



旅行などで長期間、ご使用にならないときは必ず電源プラグをコンセントから抜いておく
火災の原因となることがあります。

お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行う

感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは電源コードを引っ張らない

電源コードが傷付き、火災・感電の原因となることがあります。

移動させる場合は、本体の電源を切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してから行う

接続コードが傷付き、火災・感電の原因となることがあります。

長時間使用しないときは乾電池を取り出しておく
乾電池の液もれで回路がショートし、火災・ケガ・汚損の原因となることがあります。



持ち運ぶときは、アンテナをたたむ

伸ばしたまま持ち運ぶと、アンテナが引っかかったり当たるなどして、ケガの原因となることがあります。



幼児がカセットホルダーやCD挿入口に、手を入れないように注意する

ケガの原因となることがあります。

- お客様が録音したものは個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前に試し録りしてください。
- 本機の不具合により録音や再生できなかった場合、および、録音内容が破損または消去された場合など、いかなる場合においても録音内容の補償についてはご容赦ください。
- 地震・雷・風水害などの天災、および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書(本書)の記載内容を守らないことにより生じた損害に関しては、当社は一切責任を負いません。

ご使用になる前に

ご注意

●次のような場所では使用・保管しないでください。

- ・直射日光を浴びる場所や暖房器具のそば。
- ・ちりやほこりなどの多い場所。
- ・風呂場など湿気の多い場所。
- ・テレビやチューナーなどのそば。

雑音や画像の乱れが起こる場合があります。できるだけ離すか、同時使用を避けてください。

●温度が低い環境で操作されますと、まれにCDドアの開閉動作が遅くスムーズでない場合があります。

その場合は、暖かい場所に移動し、しばらくしてから使用してください。

●キャッシュカードや定期券などの磁気カード類、録音テープ、時計などを近づけないでください。

●レンズにほこりが付かないように、使用しないときはCDドアを閉めておいてください。またレンズには触らないようにしてください。

●本体の分解・改造は絶対にしないでください。

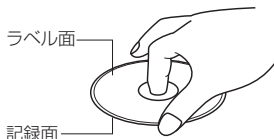
CDについて

CDの種類

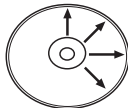
- ・ マークの入ったディスクをご使用ください。
- ・CD-R / RWの場合は、CD-DA (Compact Disc Audio) フォーマットで記憶されたディスク (ファイナライズされたもの※) を再生することができます。ただし、ディスクおよび記録に使用したレコーダーの状態によっては再生できない場合があります。※ 音楽用CD-R / RW対応機器で再生できるように処理すること。
- ・コピーコントロールCDやCD規格外の特殊形状ディスクを使用される場合、再生・音質の保証はしかねます。

CDの取り扱い

- ・記録面に触れないように、CDの端を持ってください。



- ・CDに指紋や汚れが付いたときは、柔らかい布などで、中心から端へと拭き取ってください。



- ・記録面やラベル面に、紙やテープなどを貼らないでください。またラベルがはがれたCDは使用しないでください。



ご注意

円形以外(ハート型など特殊形状)のディスク、ひびや反りのあるディスクは絶対に使用しないでください。

テープについて

エンドレステープは使用できません。

90分を超えるテープの使用はおやめください。

他のテープに比べ非常に薄いため、伸びたり、回転部分に巻き込まれやすくなります。

テープの種類

- ・録音にはノーマルポジションテープをお使いください。ハイポジション、メタルポジションテープでは、録音済みテープに録音すると、前に録音した内容が消去されず重なって録音されますので、再生しても正常に聞き取れません。また未使用のテープに録音しても十分に性能を発揮できません。



テープの取り扱い

- ＊使用前にテープのたるみを取り除いてください。テープが機械に巻き込まれることがあります。

ご注意

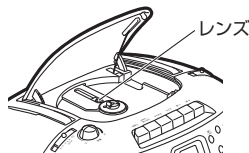
カセットテープ自体の回転が重たいと、デッキのピンチローラーにテープが絡む場合があります。次のような場合にはご注意ください。

- ・カセットテープケースに歪みや変形がある場合
- ・長年の使用でテープが劣化し、テープに波打ち伸びがある場合
- ・寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだため、テープ全体が結露した場合
- ・テープがひどく汚れ、回転が重い場合など

結露について

周辺の温度が急激に変化した場合、レンズが結露することがあります。レンズに水滴が付いた状態では正しく演奏できません。

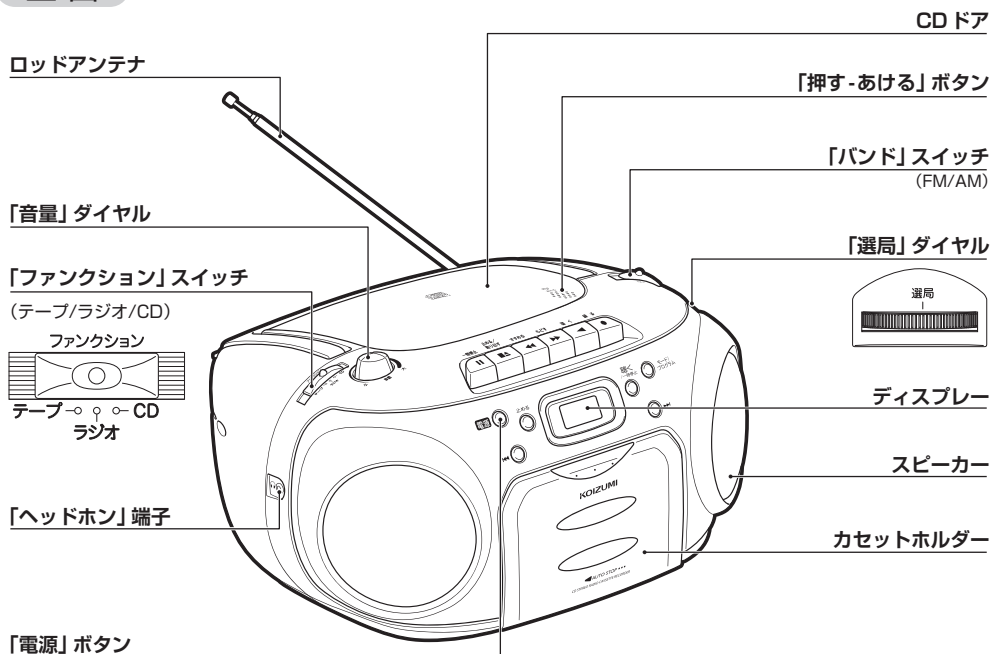
このような場合、電源を入れ、CDドアを開けたまま約1～2時間たってから使用を開始してください。



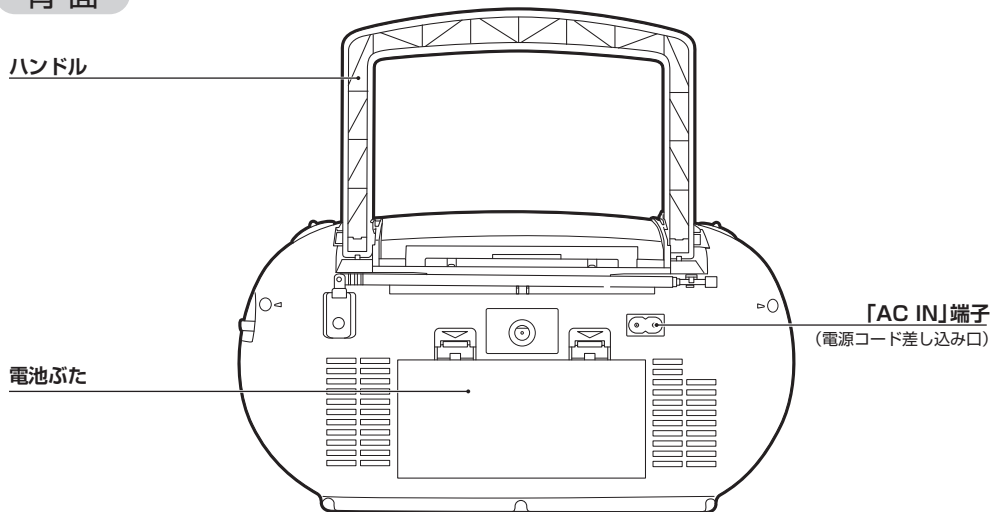
各部のなまえ

本体

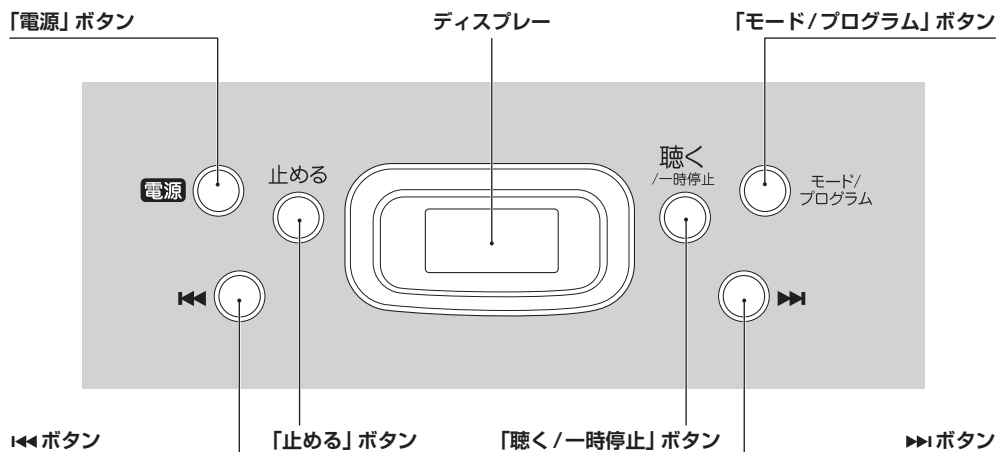
正面



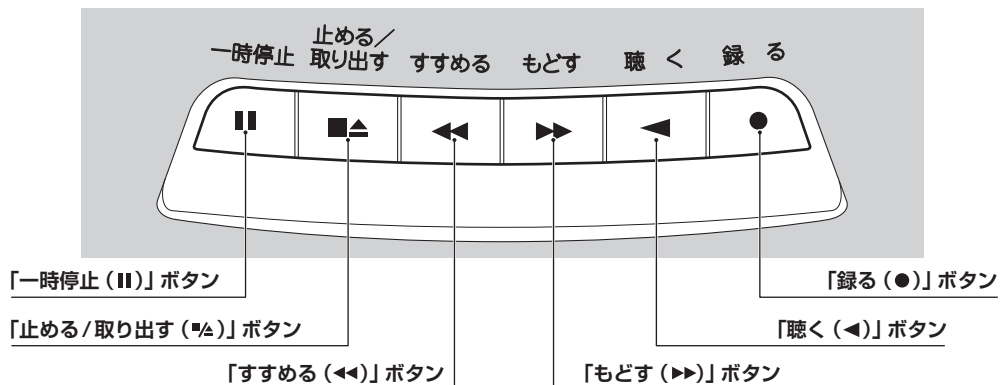
背面



CD操作部



テープ操作部



付属品

* 次の付属品が同梱されていることを確認してください。

●電源コード



●取扱説明書 (本書：保証書付)



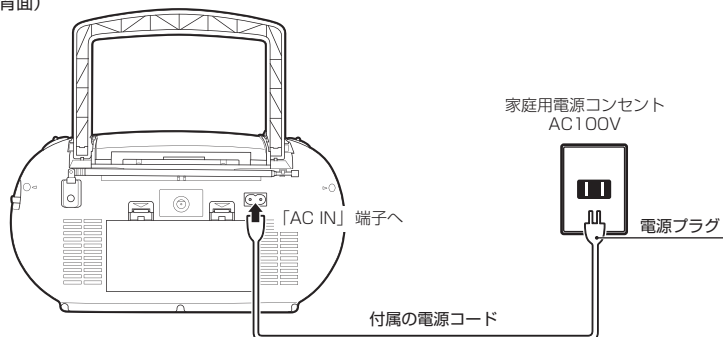
電源について

家庭用電源で使うには

1. 電源コードの供給プラグを本体の「AC IN」端子へ差し込む。

2. 電源プラグをコンセントへ差し込む。

(本体背面)



・付属の電源コードは、SAD-4944専用です。
他の製品には使用しないでください。

ご注意

- 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜いてください。
感電やショートして発火することがあります。
- 電源コードの上に重いものをのせないでください。
電源コードに傷が付いて、火災や感電の原因となります。

乾電池で使うには

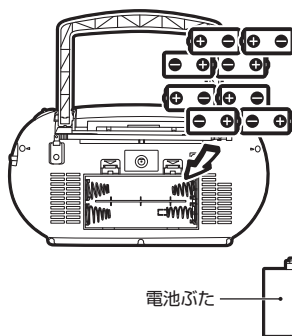
* 乾電池（別売）で使用するときは、電源コードの供給プラグを本体の「AC IN」端子から抜いてください。
電源コードが差し込まれていると、乾電池で使用できません。

1. 電池ぶたを開ける。

(本体背面)

単2形乾電池8本（別売）

2. 単2形アルカリ乾電池8本（別売）を
右図のように入れ、電池ぶたを閉める。



ご注意

乾電池の破損・液もれ防止のために次のことをお守りください。

- ・長時間使用しないときは、乾電池を取り出しておいてください。
- ・長時間未使用の場合、液もれを起こすことがあります。
- ・使い切った乾電池はすぐに取り出し、分別廃棄してください。
- ・種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しないでください。
- ・プラスとマイナスは正しく入れてください。
- ・火の中への投入や、ショート、分解、加熱などはしないでください。

乾電池の交換目安

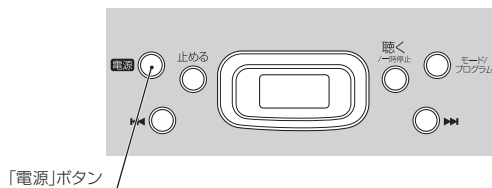
乾電池が消耗してくると、CDやテープが正常に作動しない、音が小さくなる、雑音が多くなるなどの現象が生じます。

このようなときは、新しい乾電池に交換してください。

電源を入れる

「電源」ボタンを押すと、電源が入ります。

- ・ディスプレイが表示されます。



電源を切る

ディスプレイ表示中に「電源」ボタンを押すと、電源が切れます。

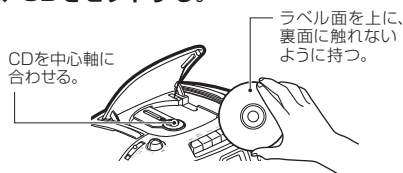
- ・ディスプレイに「[OFF]」が表示された後、電源が切れます。

ご注意

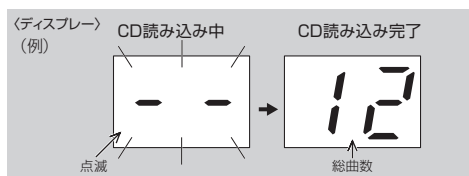
- 電源を切る前に、必ずCDやテープを停止してください。

CDを聴く

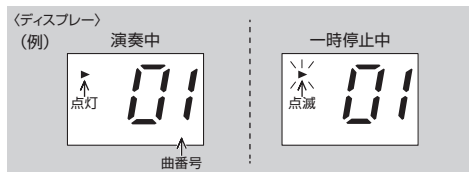
1. 「ファンクション」スイッチを[CD]にする。
2. 「押す-あける」ボタンを押してCDドアを開け、CDをセットする。



3. 「押す-あける」ボタンを押してCDドアを閉める。
 - カチッと音がするまでCDドアをしっかりと閉めてください。
 - ディスプレーに総曲数が表示されます。

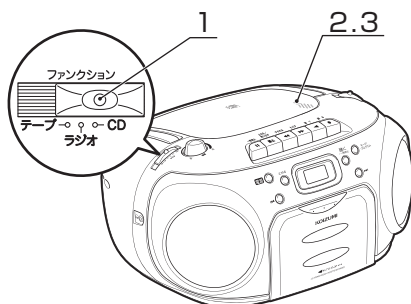


4. CD操作部の「聴く／一時停止」ボタンを押す。
 - 1曲目から演奏が始まります。
 - 全曲の演奏が終わると、自動的に停止します。

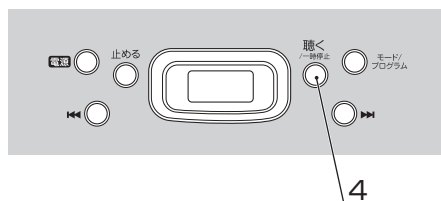


ご注意

- CDドアを開けるときは、ハンドルをたたんでください。
- CDドア内部にCDレンズ保護シートがはめられています。ご使用前に保護シートを取り外してください。
- CD-R / RWに記録されたCD、コピーガード付きのCDは再生できない場合があります。



CD操作部



音量を調節する	「音量」ダイヤルを回す。	早送り・早戻しする	演奏中に CD操作部の「 ⏮ 」「 ⏭ 」ボタンを押し続ける。 • ボタンから指を離すと演奏に戻る。
演奏を止める	CD操作部の「止める」ボタンを押す。	曲の頭を探す	演奏中／一時停止中に CD操作部の「 ⏮ 」「 ⏭ 」ボタンを押す。
一時停止する	CD操作部の「聴く／一時停止」ボタンを押す。 • もう一度押すと演奏に戻る。		停止中に CD操作部の「 ⏮ 」「 ⏭ 」ボタンで聴きたい曲を選んだ後、CD操作部の「聴く／一時停止」ボタンを押す。

CDディスプレイの表示について

ディスプレイに「no」「Err」が表示される場合、次の項目を確認してください。

- CDが正しくセットされていますか？
 - CDの表裏を間違えていませんか？
 - レンズが汚れていませんか？(P. 17参照)
 - CDが汚れたり、傷付いていませんか？
 - 使用できないCDを挿入していませんか？(P. 4参照)
- * 正常に動作しているときは、ディスプレイに数字で曲数(99曲まで)が表示されます。

ご注意

- 本機は、CD-R / RW録音機器で作成した音楽用CD-R / RWディスクの再生も可能です。ただし、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。
- CD-R / RWを入れた場合、演奏できる状態になるまで10秒前後かかります。
- コピーガード付きのCDは再生できない場合があります。
- 直接音楽ファイルを記録したCD(MP3ディスクやWMAディスクなど)は再生できません。

いろいろな演奏のしかた

リピート／ミックス演奏

演奏中／一時停止中に

CD操作部の「モード／プログラム」ボタンを押す。

- 押すごとに設定が変わります。

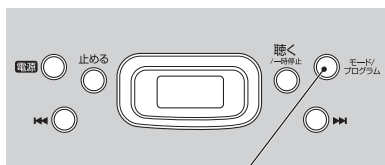
1曲繰り返し※ …………… お好みの1曲を繰り返し演奏します。

全曲繰り返し※…………… 全曲を繰り返し演奏します。

ミックス…………… 全曲を無作為に演奏します。

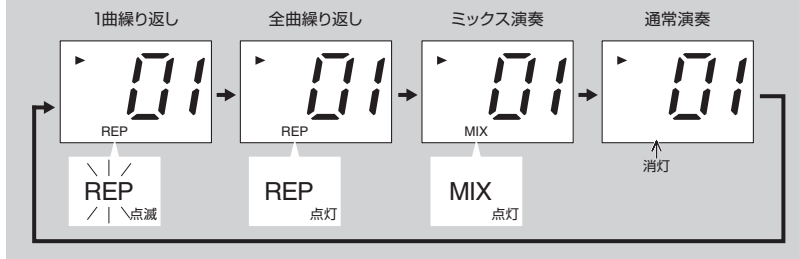
※ プログラム演奏中も設定することができます。

CD操作部



「モード／プログラム」ボタン

〈ディスプレイ〉(例)



CDを聴く

いろいろな演奏のしかた (つづき)

プログラム演奏 (お好みの曲を予約順に聴く)

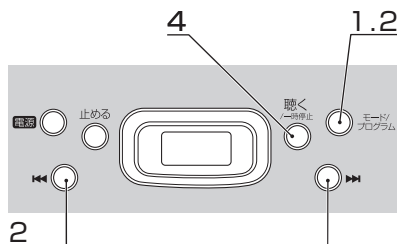
停止中に

1. CD操作部の「モード／プログラム」ボタンを押す。
2. CD操作部の「I◀◀」「▶▶I」ボタンでお好みの曲を選び、「モード／プログラム」ボタンを押す。
 - 予約が確定され、次のプログラム番号が表示されます。
3. 上記2の操作を繰り返し、予約していく。
 - 最大20曲まで予約できます。
 - 20曲予約すると、「FULL」が表示されます。
4. CD操作部の「聴く／一時停止」ボタンを押す。
 - プログラム演奏が始まります。

(例)プログラム番号1に曲番号2を予約
(ディスプレイ)



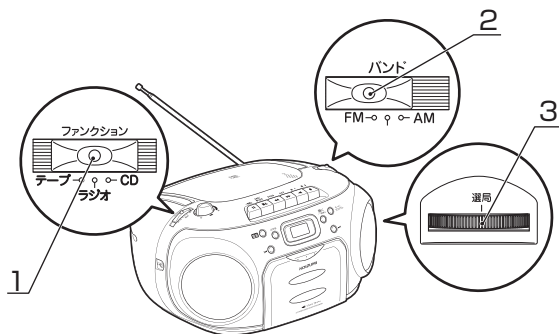
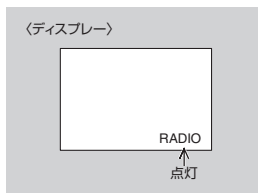
CD操作部



プログラム演奏を 停止する	CD操作部の「止める」 ボタンを押す。	一度停止した後、 同じプログラムで 演奏する	CD操作部の「聴く／一時停止」 ボタンを押す。
プログラム演奏を 解除する	プログラム演奏停止中に 次のいずれかの操作をしてください。 • CD操作部の「止める」ボタンを押す。 • CDドアを開ける。 • 「ファンクション」スイッチを[ラジオ]または[テープ]にする。		

ラジオを聴く

1. 「ファンクション」スイッチを
[ラジオ]にする。
 - ディスプレーに「RADIO」が表示されます。



2. 「バンド」スイッチで [FM] [AM] の
いずれかを選ぶ。

3. 「選局」ダイヤルで聴きたい局を
選ぶ。
 - 「選局」ダイヤルの目盛を目安に選局してく
ださい。

音量を調節する

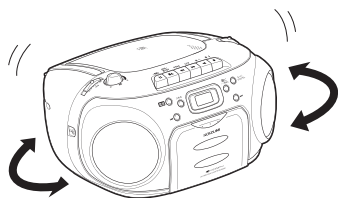
「音量」ダイヤルを回す。

設置場所について

ラジオをきれいな音でお楽しみになるには、なるべく窓際の電波の届きやすいところに置いてご使用ください。

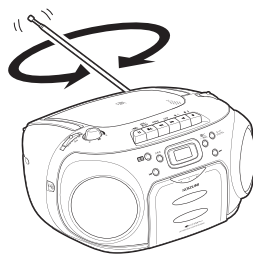
AM放送の場合

本体の向きを調節し、最もよく聴こえるところに設置してください。
(アンテナは本体内蔵)



FM放送の場合

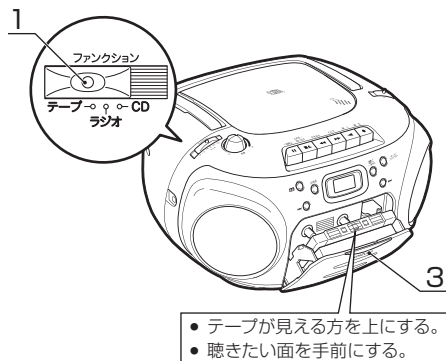
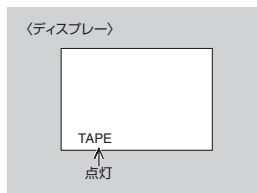
ロッドアンテナを伸ばし、最もよく聴こえる方向に向けてください。



テープを聴く

* ノーマルテープ (TYPE I) をお使いください。 (P. 4参照)
* 90分を超えるテープの使用はおやめください。

1. 「ファンクション」スイッチを
「テープ」にする。
・ ディスプレーに「TAPE」が表示されます。

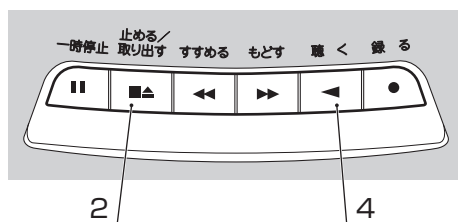


2. テープ操作部の「止める／取り出す (■▲)」
ボタンを押してカセットホルダーを開き、
カセットテープを入れる。
・ カセットテープをカセットホルダーに沿って図の
ように正しく入れてください。(テープは右から左へ走
行します。)

3. カセットホルダーを押して閉める。
・ カチッと音がするまでカセットホルダーをしっかり
閉めてください。

4. テープ操作部の「聴く (◀)」ボタンを押す。
・ 演奏が始まります。
・ 全曲演奏が終わると、自動停止します。

テープ操作部



音量を調節する	「音量」ダイヤルを回す。	早送り・早戻しする	テープ操作部の「すすめる (◀◀)」ボタンまたは「もどす (▶▶)」ボタンを押す。 ・ 演奏に戻るにはテープ操作部の「止める／取り出す (■▲)」ボタンを押してから、「聴く (▶)」ボタンを押す。
演奏を止める	テープ操作部の「止める／取り出す (■▲)」ボタンを押す。		
一時停止する	テープ操作部の「一時停止 ()」ボタンを押す。 ・ もう一度押すと演奏に戻る。		

ご注意

- テープ操作部の「すすめる (◀◀)」ボタンまたは「もどす (▶▶)」ボタンが押されているときに「聴く (▶)」ボタンを押さないでください。必ず「止める／取り出す (■▲)」ボタンを押してから「聴く (▶)」ボタンを押してください。
- テープ操作部の「すすめる (◀◀)」ボタン、または「もどす (▶▶)」ボタンでテープが最後まで巻き取られたら、「止める／取り出す (■▲)」ボタンを押してください。

オートストップ機能について

再生状態でテープが最後まで巻き取られると、テープ操作部の「聴く (▶)」ボタンが自動的に停止します。電源は自動的に切れません。

録音する

ご注意

テープ操作部の「録る(●)」ボタンを押すとテープ操作部の「聴く(◀)」ボタンも一緒に押し込まれます。テープが入っていないときや、カセットテープの消去防止用のツメが折れているとき、「録る(●)」ボタンは押し込みません。無理に押さないでください。

録音済みのテープの誤消去防止のために

カセットテープ底面にあるツメをドライバーなどで根本から折っておくと、録音できなくなります。接着テープなどで穴をふさぐと再び録音できます。

誤消去防止用のツメ

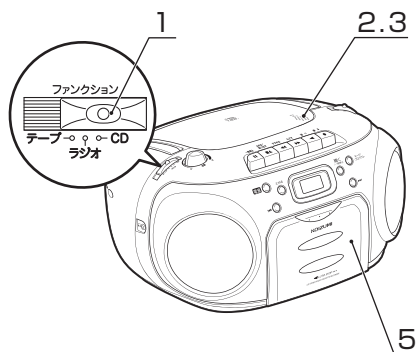


オートストップ機能について

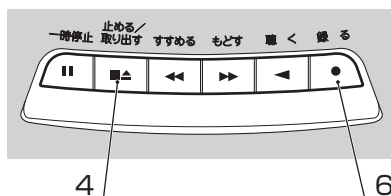
テープが最後まで巻き取られるとテープ操作部の「録る(●)」ボタンと「聴く(◀)」ボタンが自動的に停止します。電源は自動的に切れません。

CDから録音する

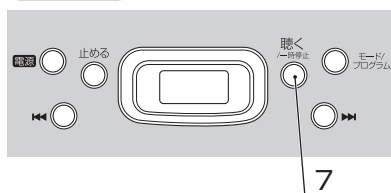
1. 「ファンクション」スイッチを [CD] にする。
2. 「押す-あける」ボタンを押してCDドアを開け、CDをセットする。
3. 「押す-あける」ボタンを押してCDドアを閉める。
 - ・カチッと音がするまでCDドアをしっかり閉めてください。
4. テープ操作部の「止める／取り出す(■▲)」ボタンを押してカセットホルダーを開き、カセットテープを入れる。
5. カセットホルダーを押して閉める。
 - ・カチッと音がするまでカセットホルダーをしっかり閉めてください。
6. テープ操作部の「録る(●)」ボタンを押す。
 - ・テープが走行し録音が始まります。
 - ・テープ操作部の「聴く(◀)」ボタンも一緒に押し込まれます。
7. CD操作部の「聴く／一時停止」ボタンを押す。
 - ・録音中の音声スピーカーから出ます。



テープ操作部



CD操作部



録音を止める

テープ操作部の「止める／取り出す(■▲)」ボタンを押して、CD操作部の「止める」ボタンを押す。

一時停止する

テープ操作部の「一時停止(II)」ボタンを押す。

- ・もう一度押すと録音が再開される。

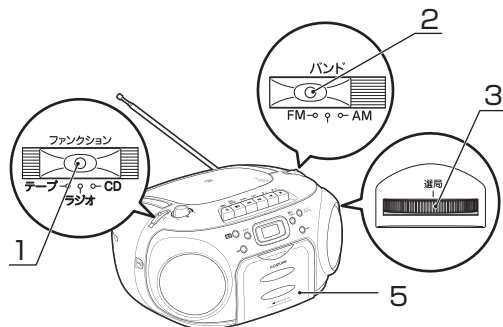
・録音音量は自動的に調整されます。録音中に音量を変更しても、録音される音量には影響しません。

ラジオから録音する

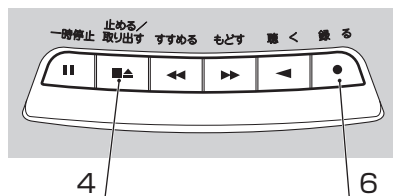
ご注意

●ラジオをきれいな音で録音するには、なるべく窓際の電波の届きやすいところに置いてご使用ください。

1. 「ファンクション」スイッチを
[ラジオ] にする。
2. 「バンド」スイッチで [FM] [AM] のいずれかを選ぶ。
3. 「選局」ダイヤルで聴きたい局を選ぶ。
・「選局」ダイヤルの目盛を目安に選局してください。
4. テープ操作部の「止める／取り出す(■▲)」
ボタンを押してカセットホルダーを開き、
カセットテープを入れる。
5. カセットホルダーを押して閉める。
・カチッと音がするまでカセットホルダーをしっかり
閉めてください。
6. テープ操作部の「録る(●)」ボタンを押す。
・テープが走行し録音が始まります。
・録音中の音声がスピーカーから出ます。
・テープ操作部の「聴く(◀)」ボタンも一緒に押し
込まれます。



テープ操作部



録音を止める

テープ操作部の「止める／
取り出す(■▲)」ボタンを押す。

一時停止する

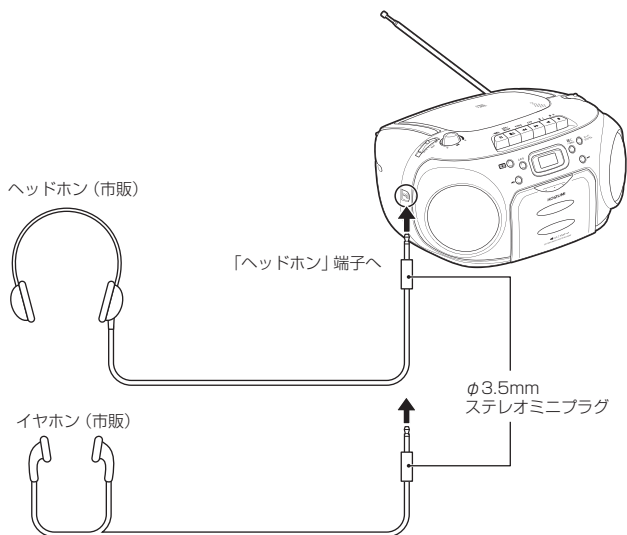
テープ操作部の
「一時停止(II)」ボタンを押す。
・もう一度押すと録音が再開される。

・録音音量は自動的に調整されます。録音中に音量を変更しても、録音される音量には影響しません。

市販のヘッドホン／イヤホンで聴く

■市販のヘッドホン／イヤホンの本機につないで、音声を聴くことができます。

- ヘッドホン／イヤホンをつなぐと、スピーカーから音が出なくなります。



ご注意

- ヘッドホン／イヤホンの本機につなぐときは、本機の音量を下げてください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間聴くことは避けてください。

お手入れのしかた

*必ず電源を切り、ディスプレイが消灯していることを確認して、電源プラグ・乾電池を本体から抜いて、行ってください。

本体のお手入れ

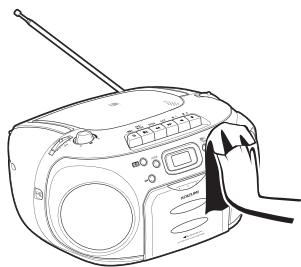
乾いた布などで拭いてください。

汚れがひどいとき

中性洗剤を薄めて布に含ませ、よく絞ってから汚れを拭き取ってください。その後、から拭きしてください。

ご注意

ベンジン・アルコール・シンナーなどでは拭かないでください。本体を傷める原因となります。



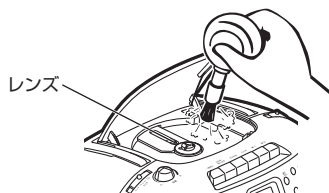
レンズのお手入れ

ごみやほこりが付いたとき

レンズを市販のブロアーで2〜3回吹き、ブロアー先端のブラシでごみやほこりを吹き出します。最後にもう一度レンズをブロアーで吹いてください。

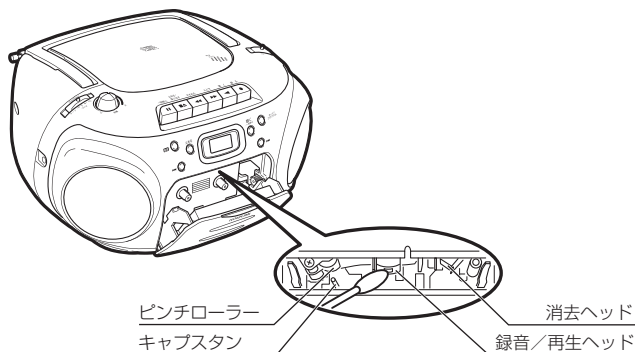
ご注意

レンズには指紋や汚れを付けないようにしてください。



ヘッド部のお手入れ

ヘッド部にごみやほこりなどが付着すると、音質劣化や消去不良を招きます。市販の綿棒や柔らかい布にアルコールを軽く含ませて、各ヘッドを月に1〜2回掃除してください。



仕様

* 本機の仕様および外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

* 電池持続時間：乾電池の種類や使用状況（音量など）、環境によって異なることがあります。

受信周波数	FM：76～108MHz AM：522～1629kHz	電池持続時間 (アルカリ乾電池 使用時)	CD再生時：約15時間 ラジオ受信時：約55時間 テープ再生時：約35時間
アンテナ	FM：ロッドアンテナ AM：フェライトバーアンテナ内蔵	消費電力	12W
トラック方式	ステレオ	最大外形寸法	●ハンドルを立てたとき 約290(幅)×240(奥行)×260 (高さ)mm ●ハンドル収納時 約290(幅)×240(奥行)×155 (高さ)mm
スピーカー	7.7cm(8Ω)×2個	質量	約2.0 kg(乾電池含まず)
出力端子	「ヘッドホン」端子 (φ3.5mmステレオミニプラグ)	電源コードの長さ	約1.7 m
実用最大出力	1.2 W + 1.2 W	付属品	電源コード、 取扱説明書(本書：保証書付)
電源	2電源方式 ●AC 100 V 50 / 60 Hz (付属電源コード使用時) ●DC12 V 単2形アルカリ乾電池 ×8本(別売)		

故障かな？と思われたときは

症 状	チェックポイント	処置のしかた
電源が入らない。	乾電池は正しい方向に入っていますか？	乾電池の + - を確かめてください。(P. 7参照)
	電源コードが外れていませんか？	正しく接続してください。(P. 7参照)
音が出ない。	「ヘッドホン」端子にコードが差し込まれていませんか？	コードを抜いてください。(P. 16参照)
カセットテープが入らない。	テープの向きは正しいですか？	テープを正しく入れてください。(P. 13参照)
「録る(●)」ボタンが押し込めない。	カセットテープの誤消去防止用ツメが折れていませんか？	ツメの折れていないカセットテープを使うか、接着テープなどで穴をふさいでください。(P. 14参照)
テープの回転ムラがある。	乾電池が古くなっていませんか？	新しい乾電池に交換してください。
	テープがたるんでいますか？	テープのたるみを直してからカセットテープを入れてください。
	巻き取りムラができていませんか？	テープを全部巻き直してみてください。
テープの再生音が悪い。	ヘッド部が汚れていませんか？	市販の綿棒や柔らかい布でヘッド部を定期的に掃除してください。(P. 17参照)
テープの再生音が歪む。	ハイポジション、メタルポジションテープを使っていますか？	ノーマルポジションテープを使用してください。
テープが巻きつく。	ピンチローラーやキャプスタンが汚れていませんか？	市販の綿棒や柔らかい布を使って、ピンチローラー・キャプスタンを掃除してください。(P. 17参照)
	テープがたるんでいますか？	テープのたるみを直してからカセットテープを入れてください。
テープが絡んだ。	カセットテープが古くありませんか？	無理な取り出しをせず、お買い上げの販売店か小泉成器株式会社「修理センター」に修理を依頼してください。(P. 23参照)
テープの前の録音が消えない。	消去ヘッドが汚れていませんか？	市販の綿棒や柔らかい布で掃除してください。(P. 17参照)
	ハイポジション、メタルポジションテープを使っていますか？	ノーマルポジションテープを使用してください。

症 状	チェックポイント	処置のしかた
CDの演奏が始まらない。 CDが入っているのに「no」「Err」と表示される。	乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池に交換してください。
	CDの表裏を間違えていませんか？	ラベル面を上にしてください。
	レンズが汚れていませんか？	レンズをクリーニングしてください。 (P. 17参照)
	レンズに霧や水滴が付いていませんか？	CDを取り出してCDドアを開け、1～2時間ほど置いてください。
	CDが汚れていませんか？	汚れを落としてください。
	ファイナライズ処理(通常のCDプレーヤーで再生できるようにする処理)をされていないCD-R / RWディスクは再生できません。	
	CD-R / RWでは、ディスクや記録に使用したレコーダーの状態によって再生できない場合があります。	ディスクを替えて試してください。
CDの音が飛ぶ。	強い振動を与えていませんか？	振動を与えないでください。
	CDがひどく汚れていませんか？	汚れを落としてください。
	CDに大きな傷はありませんか？	CDを替えて試してください。
	乾電池が消耗していませんか？	新しい乾電池に交換してください。
ラジオに雑音が入る。	電波の届きやすいところに置いていますか？	設置場所を確認してください。 (P. 12参照)
	テレビと同時に使用していませんか？	テレビから離してください。 または、テレビの電源を切ってください。

アフターサービスについて

1. 保証書

- この取扱説明書には保証書が付いています。
保証書はお買い上げの販売店による「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日から1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

- 保証期間中は
商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。
- 保証期間が過ぎているときは
お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

- CDステレオラジカセの補修用性能部品の保有期間は製造打切後6年です。
補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

- アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、本書の裏表紙(P. 23)に記載の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。

愛情点検		★長年ご使用の音響機器の点検を！	
	ご使用の際 このようなことは ありませんか	●電源コードや電源プラグが異常に熱い。 ●電源コードに深い傷や変形がある。 ●コゲくさい臭いがする。 ●その他の異常、故障がある。	ご使用中 止 このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お預かりしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

〈利用目的〉

お預かりしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。

なお、この目的のために小泉成器株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

保証・無料修理規定

1. 本書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った**正常な使用状態で保証期間内に故障**した場合、「**無料修理**」いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、**商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。**
3. **ご転居、ご贈答品などで**保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、本書に記載の小泉成器株式会社「修理センター」へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の落下などによる故障および損傷。
 - (ハ) 火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障および損傷。
 - (ニ) 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車輛、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
 - (ホ) 本書のご提示がない場合。
 - (ヘ) 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、または字句を書き換えた場合。
5. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
6. 保証書は日本国内においてのみ有効です。Effective only in Japan.
7. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

- ※保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または本書に記載の小泉成器株式会社「修理センター」にお問い合わせください。
- ※保証期間経過後の修理について詳しくは本書の「アフターサービスについて」をご覧ください。

CDステレオラジカセ

保証書 持込修理

本書は、本書記載内容（裏面記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

型番	SAD 4944		
お買い上げ年月日	年	月	日
無料修理保証期間	期間（お買い上げ日より） 1 年		
お客様	お名前	様	
	ご住所	〒 TEL	
販売店	店名・住所・電話		

★販売店の皆様へのお願い 必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。
小泉成器株式会社 本社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06(6262)3561

お客様相談窓口

この商品に関するご意見・ご質問については下記へお寄せください。

ご意見・ご質問について

お客様相談窓口



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (07) 5555

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号 TEL.06 (6262) 3561 FAX.06 (6268) 1432

修理に関するお問い合わせ

東日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190 TEL.048 (718) 3340 FAX.048 (718) 3350

西日本修理センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (05) 8888

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06 (6613) 3145 FAX.06 (6613) 3196

部品に関するお問い合わせ

部品センター



ナビダイヤル
(全国共通番号)

0570 (00) 3211

■IP電話などからご利用いただけない場合

〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号 TEL.06 (6613) 3211 FAX.06 (6613) 3299

小泉成器株式会社

〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号
TEL.06 (6262) 3561 FAX.06 (6268) 1432

受付時間：平日9：00～17：30
(土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

2019年6月現在(所在地、電話番号などには変更がありま
ずので、その節はご容赦願います。)